

## 群馬県で豚熱発生

5月10日、群馬県桐生市の農場（豚熱ワクチン接種農場）において、国内81例目となる「豚熱（CSF）」の発生が確認されました。

ワクチン接種農場での豚熱発生が全国で相次いでいます。また、気温も上がり、野生イノシシの活動範囲が広がることが懸念されます。防護柵等の点検を行い、侵入防止対策に努めてください。

環境中のどこにでも豚熱ウイルスが存在するという危機感を持ち、ウイルスを農場へ侵入させないよう、これまで以上の飼養衛生管理基準（畜舎周囲の消毒、長靴や衣服の交換、毎日の健康観察、野生動物侵入防止等）の遵守徹底をお願いします。

### 【発生農場の概要】

所在地：群馬県桐生市 飼養状況：約5,500頭

### 【経緯】

- 群馬県は、5月9日、同県桐生市の農場から、死亡頭数が増加している旨の通報を受け、病性鑑定を実施。
- 群馬県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門<sup>(注)</sup>にて精密検査を実施。 (注)国内唯一の動物衛生に関する専門研究機関
- 5月10日：豚熱の患畜であることが判明。

### 【対応】

- 当該農場の飼養豚の殺処分及び焼埋却等の必要な防疫措置の実施。
- 農場の消毒や農場への野生動物の侵入防止等の飼養衛生管理基準の遵守に関する指導の徹底。